

問1 室町幕府の第3代将軍であり、約60年間にわたって続いていた南北朝の分裂を1392年に終わらせ、国内の統一を成し遂げた人物は誰ですか。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 足利尊氏                      2. 足利義満                      3. 足利義政                      4. 足利義昭

問2 京都の室町を拠点として政治を行った武家政権について、南北朝の合一を実現し、明との貿易を開始するなど、幕府の全盛期を築いた三代目将軍は誰ですか。（2016年 京都公立入試 類似）

1. 足利義満                      2. 足利尊氏                      3. 足利義政                      4. 徳川家康

問3 室町時代の外交において、琉球王国が日本、中国、朝鮮、東南アジアを繋ぐネットワークの中で繁栄できた理由として、最も適切な背景はどれですか。（2026年 広島公立入試 類似）

1. 中国（明）が民間人の海外渡航を制限するなか、琉球が公的な貿易の窓口として認められていたから  
2. 長崎の出島を拠点として、ヨーロッパ諸国との独占的な取引を行っていたから  
3. 蝦夷地のアイヌの人々と協力し、北方ルートの交易を独占したから  
4. 堺の商人たちと結びつき、鉄砲や火薬を大量に輸入して軍力で周辺諸国を支配したから

問4 中世の農業において、家畜の利用や二毛作の普及によって農業生産力が向上したことは、当時の社会にどのような影響を与えましたか。当時の状況を説明した報告において、農業と他の産業との関わりに触れた内容として適切なものを次から選びなさい。（2023年 秋田県公立入試 類似）

1. 余剰農産物が生まれたことで、手工業や商業が活発になり、定期市などが各地で開かれるようになった。  
2. 食料が自給自足で完結するようになったため、貨幣の使用が禁止され、物々交換の経済へと逆戻りした。  
3. 農民のすべてが武士階級へと格上げされたことで、兵農分離が徹底され、強力な中央集権国家が成立した。  
4. 農業生産の余力がすべて海外輸出に回されたため、国内では極端な米不足が続き、鎖国体制が築かれた。

問5 室町時代の社会運動に関連するある史料において、「以前の借金はすべて帳消しにする」という趣旨の法令が示されています。このような法令が、当時の幕府によって出された背景として正しいものはどれですか。（2016年 富山県公立入試 類似）

1. 農民や武士が困窮し、各地で発生した一揆の勢力が幕府の統治を脅かすほど強くなったため  
2. キリスト教の布教を制限し、仏教勢力との結びつきを強める必要があったため  
3. 全国的な検地を行い、農民の収穫量を正確に把握して税制を安定させるため  
4. 元（モンゴル帝国）との戦争による恩賞不足を解消するために、新しい土地を分配するため

問6 室町時代の外交と文化の関連について、足利義満が始めた日明貿易（勘合貿易）が北山文化に与えた影響を説明したものととして、正しい記述を選択してください。（2022年 香川公立入試 類似）

1. 明から輸入された水墨画や禅宗の思想が、五山文学の発展や芸術の洗練に大きな役割を果たした。  
2. 明から大量の鉄砲が伝来したことで、戦国大名の城郭建築に大きな変化をもたらした。  
3. 中国の律令制度を模範とした中央集権的な国家体制が整い、大陸風の巨大な大仏造営が進んだ。  
4. 明の皇帝から授かった茶の湯の道具を「わび茶」として発展させ、庶民の間で簡素な美が流行した。

問7 室町時代の1428年、近江の馬借（運送業者）などが中心となり、幕府に対して「借金の帳消し」を求める命令を出すよう要求して起こした大規模な暴動を何といいますか。（2024年 秋田県公立入試 類似）

1. 正長の土一揆                      2. 加賀の一向一揆                      3. 島原・天草一揆                      4. 山城の国一揆

問8 琉球王国の繁栄を記した当時の歌謡には、那覇の港に中国や南蛮（東南アジアなど）の船が集まり、首里の王の統治下で島が賑わう様子が描かれています。琉球王国がこのような広範囲な貿易ネットワークを築き、「万国の津梁（世界の架け橋）」として機能できた背景として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 神奈川県公立入試 類似）

1. 中国の明との間に朝貢関係を結び、中国との正式な貿易ルートを確認しながら、東南アジア諸国との取引を仲介したため。  
2. 江戸幕府から朱印状を与えられた商人が、東南アジア各地に日本町を建設して琉球を拠点としたため。  
3. 東インド会社を設立してヨーロッパ諸国と直接取引を行い、最新の航海技術を導入して独占的な地位を築いたため。  
4. 倭寇と呼ばれる海賊集団を武力で鎮圧し、東シナ海全域の航路の安全を琉球王国が単独で保障したため。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 2</b> <b>足利義満</b>	足利義満は室町幕府の権力を確立させた将軍です。南朝と北朝の合体を達成したことで、幕府による全国的な支配体制を盤石なものにしました。また、金閣を建立するなど文化的な側面でも大きな足跡を残しています。
問2	<b>答え 1</b> <b>足利義満</b>	三代目将軍である足利義満は、有力な守護大名の勢力を抑えて幕府の権威を高め、1392年に南北朝の合一を成し遂げました。また、明（中国）との間で勘合を用いた日明貿易を開始して経済的な基盤を固めるとともに、京都の北山に金閣を建立するなど、北山文化と呼ばれる華やかな文化を築きました。
問3	<b>答え 1</b> <b>中国（明）が民間人の海外渡航を制限するなか、琉球が公的な貿易の窓口として認められていたから</b>	当時の中国（明）は、海禁政策によって民間人の自由な海外貿易を禁止し、公式な「朝貢貿易」のみを認めていました。琉球王国はこの朝貢貿易を頻繁に行うことを許可されていたため、中国の優れた品物を独占的に入手できました。その品物を求めて日本や東南アジアの船が集まったこと、また琉球側も積極的に海外へ進出したことが、中継貿易の繁栄に繋がりました。
問4	<b>答え 1</b> <b>余剰農産物が生まれたことで、手工業や商業が活発になり、定期市などが各地で開かれるようになった。</b>	農業生産力が向上して生活に余裕が生まれると、農民は自分の家で使う分以外の作物や、特産品を売買するようになりました。これにより、手工業品や特産物を扱う商業が盛んになり、寺社の門前や交通の要所に人々が集まって定期市が開かれるなどの社会変化をもたらしました。
問5	<b>答え 1</b> <b>農民や武士が困窮し、各地で発生した一揆の勢力が幕府の統治を脅かすほど強くなったため</b>	室町幕府が徳政令を出した主な理由は、激化する土一揆を鎮圧し、社会の混乱を収めるためでした。農民だけでなく、困窮した地方の武士（国人）も一揆に加わることがあり、彼らの不満を解消しなければ幕府の支配体制が維持できない状況に陥っていました。しかし、徳政令は貸し手である商人の経済活動を停滞させる要因にもなりました。
問6	<b>答え 1</b> <b>明から輸入された水墨画や禅宗の思想が、五山文学の発展や芸術の洗練に大きな役割を果たした。</b>	足利義満は明の皇帝から「日本国王」の称号を得て正式な国交を結び、貿易を盛んに行いました。この貿易により、中国から優れた禅僧や水墨画、書籍などがもたらされ、それらが京都の禅宗寺院（五山）を中心とする知識層に受容されました。その結果、禅宗の教義を背景とした芸術や文学が北山文化の知的・精神的な基盤となり、水墨画などの後の日本文化に繋がる芸術が発展しました。
問7	<b>答え 1</b> <b>正長の土一揆</b>	室町時代の正長元年に発生した、最初の大規模な土一揆です。運送業者である馬借や近郊の農民たちが団結し、借金の帳消しを意味する「徳政」を求めて蜂起しました。これがきっかけとなり、幕府に対して徳政令の発布を求める動きが広まりました。
問8	<b>答え 1</b> <b>中国の明との間に朝貢関係を結び、中国との正式な貿易ルートを確認しながら、東南アジア諸国との取引を仲介したため。</b>	琉球王国は中国（明）の皇帝に対して貢物を送り、その返礼品を受け取る「朝貢」という形式で公的な貿易を行っていました。当時、明は民間貿易を厳しく制限していたため、正式な貿易ルートを持つ琉球は、東南アジアの特産品を中国へ、中国の特産品を日本や東南アジアへ運ぶ役割を一手に引き受けることができました。